

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

河南地区

平成22年3月

岩手県盛岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	居住人口	人	6,000	6,500	6,106	確定 見込み ●	△	あり なし ●	5,922	H20年6月	△	予測より地区内人口が減少したため ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値に比べ数値は下回ったものの、事業による居住者等が増えたことにより人口減少の抑制は図られた。
指標2	来街者数	人/日	26,000	28,000	18,832	確定 見込み ●	×	あり なし ●	23,696	H20年6月	△	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	計測地点の数値には効果が反映されなかったものの、事業効果としての交流人口は増加し効果が現れている。
指標3	交通事故発生件数	件/年	50	35	22	確定 見込み ●	○	あり なし -	24	H21年6月	○	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	歩車道の区別化整備により車の徐行意識を高め、交通事故発生件数の減少は図られた。
指標4	まちづくり勉強会	回	0	30	56	確定 見込み ●	○	あり なし -	57	H20年6月	○	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地区住民参加型のまちづくりへの意識の高揚が図られた。
指標5						確定 見込み ●		あり なし -				□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	肴町3番地区再開発ビルの入居率	%	0	/	97	確定 見込み ●	/	/	88	H20年6月	/	評価値の見込み推計が甘かった ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	共同住宅整備による人口定着効果が現れている。
その他の数値指標2	もりおか啄木・賢治青春館の来館者数	年/人	51,611	/	51,953	確定 見込み ●	/	/	45,549	H21年6月	/	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	来館者値には効果が反映されなかったが、近隣に入館者が増加している施設もあり、事業効果として来街者減少の抑制効果が見られる。
その他の数値指標3				/		確定 見込み ●	/	/				□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	盛岡城跡公園や八幡宮などの観光地を巡る安心歩行空間として来街者に周知し、回遊性を向上していく。(来街者数の増加)	彫刻シンポジウム実行委員会が主体となってコミュニティ道路において彫刻展と地元町内会と隣接小学校の協力により音楽会が催された。	新聞等で報道され市民への周知が図られた。	中ノ橋通一丁目八幡町線道路整備事業によるコミュニティ道路の整備により、安全安心な歩行空間の延長化を図る。
	当該地区から隣接地区へ回遊するようなまちづくりと隣接地区の住民によるまちづくり意識の高揚につなげる。(居住人口の増加)	隣接する4番地区がまちなか再生総合プロデュース事業による地域学習会を開催した。	講演会やワークショップなど3回開催され、地区の魅力や問題点など意見交換が行われた。	取り組み中の中心市街地活性化基本計画事業の推進においても、意見交換会やワークショップなど地区住民によるまちづくりの意識の高揚を図る。
	まちなかへの居住希望者のニーズを丁寧に汲み取り、今後も同様の取り組みを進めまちなか居住を推進していく。(居住人口の増加)	バスセンター周辺地区再整備事業化へ向けて取り組みを行った。	新中心市街地活性化基本計画に位置付けを行った。実施に向け地権者交渉を行うと共に、地元への事業説明会などを行った。	バスセンターを中心とした再開発ビルの資金調達やテナント確保等の事業スキームの具体化と関係権利者間の事業合意
	盛岡城跡公園や八幡宮などの観光資源と回遊性をアピールし、地区への観光客などの集客を図る。(来街者数の増加)	盛岡城跡公園のもりおか雪あかりにおいて八幡町通りにおいてもイベントを実施	盛岡城跡公園からの一連の流れをアピールすることができた。	人々の交流と賑わいの回復を促進させるため、まちづくり交付金事業・盛岡城公園周辺地区の円滑な実施を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	・高齢者のまちなか居住のメリットのアピール活動(居住人口の増加)	在宅型有料老人ホームの一部を介護付有料老人ホームの指定を受け増床を図った。	低所得者の方でもより入居しやすくなったほか、入居中の方も自己負担の軽減となった。	介護付有料老人ホームを望む利用者が多いことから、全室介護付有料老人ホームの指定を目指す。
	・高齢者向けマンション等の建設の奨励 (居住人口の増加)	民間が主導となり肴町4番地区再開発事業化への取り組みが行われた。	新中心市街地活性化基本計画に位置付けられた。	戦略的中心市街地商業等活性化支援を予定した商業施設や立体駐車場と共同住宅の計画が進められている。
	・居住利便性を高めるサービス提供体制の構築(居住人口の増加)	整備施設への医院や商店の誘致活動を行うと共に、入居施設による賃貸マンション居住者へ給食サービスを実施した。	個別交渉を行うと共に医師会、薬局、医療メーカーなどや不動産業者にも依頼し誘致に向け継続中である。給食は11戸でサービスを利用した。	同居する福祉施設と連携する充実したサービスの提供をPRL、高齢者専用賃貸マンションの入居率向上を図る。
	・商店街において、イベント等の実施による来街者増加に取り組む (来街者数の増加)	商店街が中心となって、年間20回のイベントを開催し、集客を図った。	来街者数の目標達成は出来なかったが、リピーター等から減少抑制の効果が見られた。	肴町商店街やTMO盛岡まちづくり会社と共にイベント開催の継続を図る。 (H18年度20回、H19年度26回、H21年度26回)
・盛岡城跡公園や八幡宮などを結ぶ観光資源を活かしたまちづくり (来街者数の増加)	他地区の整備計画においてお城を中心としたまちづくり事業として、当地区のコミュニティ道路に繋がる道路整備事業を追加するため変更を行った。	新中心市街地活性化基本計画に位置付けられると共に、まちづくり交付金事業により21年度に整備されることになった。	人々の交流と賑わいの回復を促進させるため、まちづくり交付金事業・盛岡城公園周辺地区の円滑な実施を図る。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項